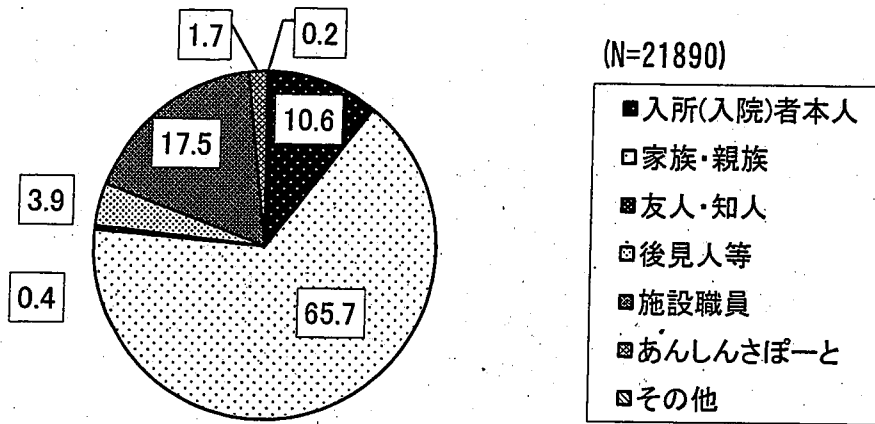
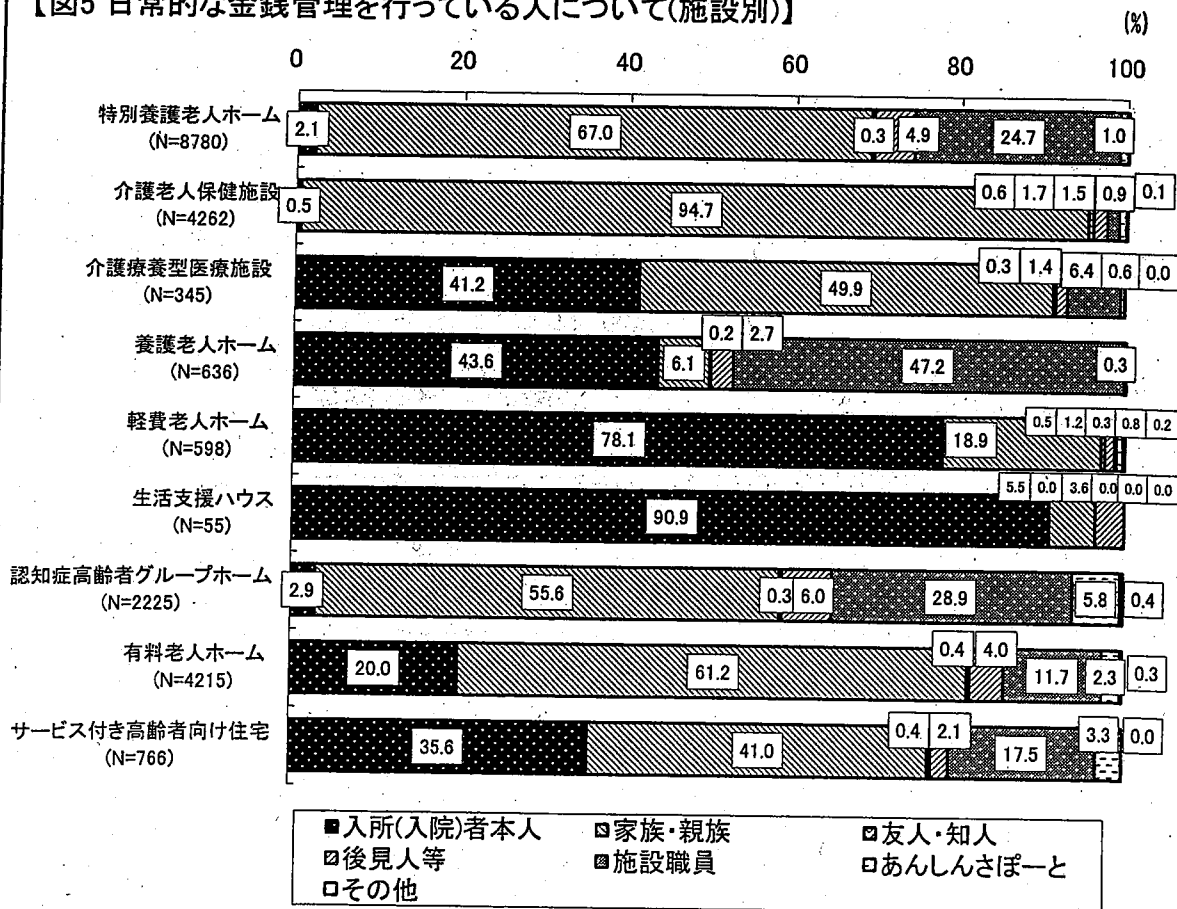


問5 入所(入院・入居)者の日常的な金銭管理を行っている人について、該当する項目に人数を記入してください。

【図5 日常的な金銭管理を行っている人について(全体)】



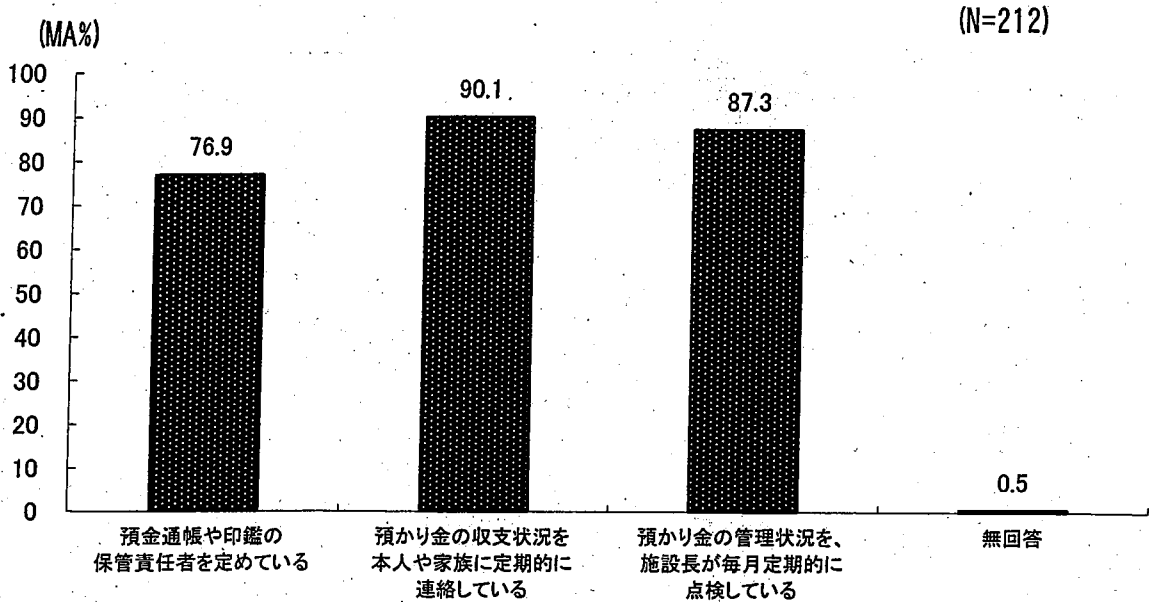
【図5 日常的な金銭管理を行っている人について(施設別)】



日常的な金銭管理は、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅では、「家族・親族」、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウスでは「入所(入院)者本人」が行っている割合が最も高い。(図5、図5-1)

問5-1 問5で、施設職員が金銭管理を行っていると答えた施設におたずねします。
金銭管理について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図5-2 施設職員の金銭管理について(全体)】



【表5-3 施設職員の金銭管理について(施設別)】

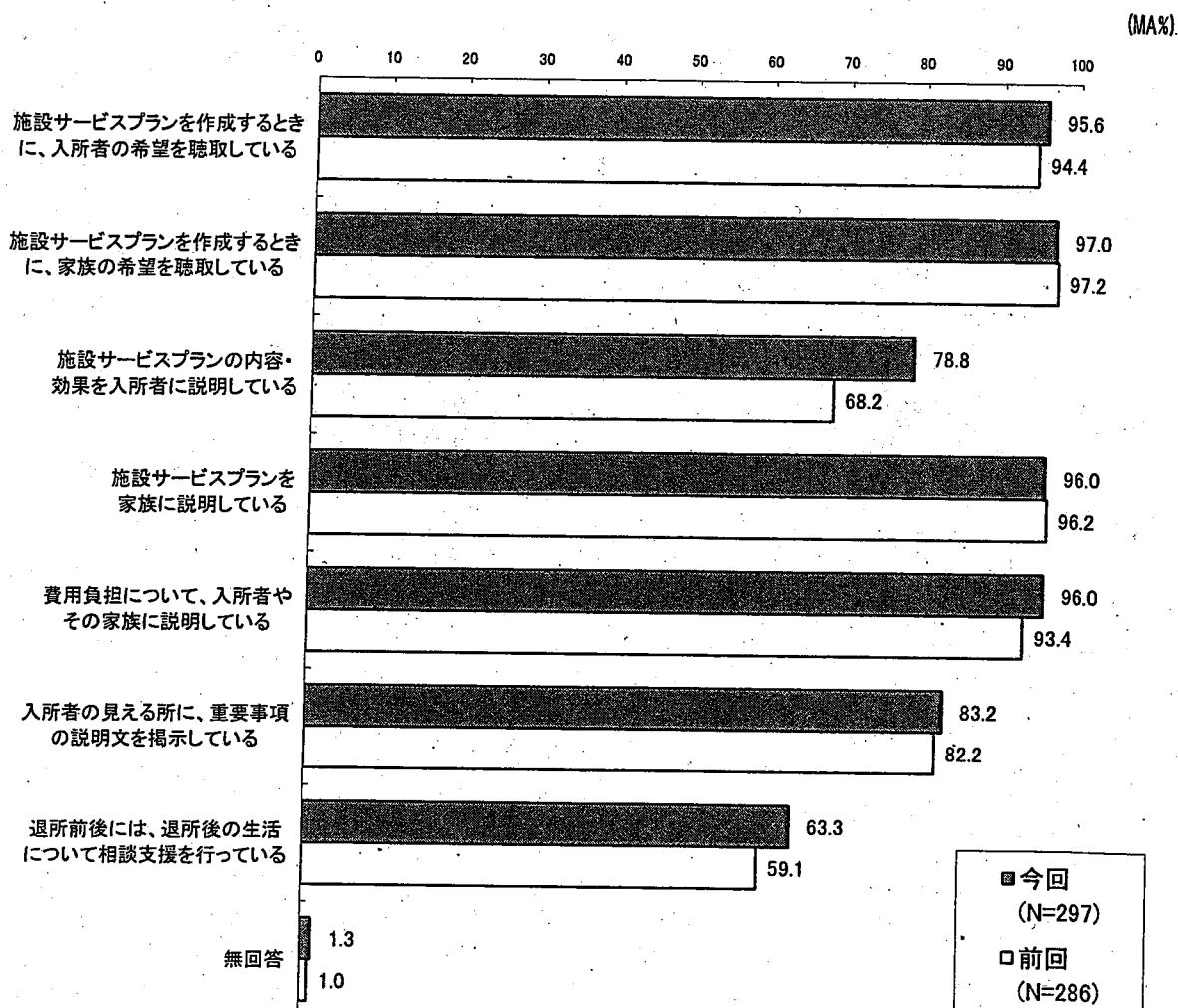
(MA%)

	N	預金通帳や印鑑の保管責任者を定めている	預かり金の収支状況を、本人や家族に定期的に連絡している	預かり金の管理状況を、施設長が毎月定期的に点検している	無回答
特別養護老人ホーム	66	76.8	90.0	87.7	0.5
介護老人保健施設	14	93.9	95.5	93.9	1.5
介護療養型医療施設	4	85.7	78.6	71.4	0.0
養護老人ホーム	10	75.0	50.0	50.0	0.0
軽費老人ホーム	1	100.0	90.0	90.0	0.0
生活支援ハウス	0	0.0	100.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	64	0.0	0.0	0.0	0.0
有料老人ホーム	45	57.8	87.5	89.1	0.0
サービス付き高齢者向け住宅	7	73.3	93.3	86.7	0.0

施設職員が金銭管理を行っている施設における状況については、介護老人保健施設・軽費老人ホームでは、「預金通帳や印鑑の保管責任者を定めている」「預かり金の収支状況を、本人や家族に定期的に連絡している」「預かり金の管理状況を、施設長が毎月定期的に点検している」のいずれも9割を超えている。特別養護老人ホームは、次に高い割合となっている。(図5-2、図5-3)

問6 介護サービスなどについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図6 介護サービスに関する説明等の状況】



【表6-1 施設別 介護サービスにおける説明等の状況】

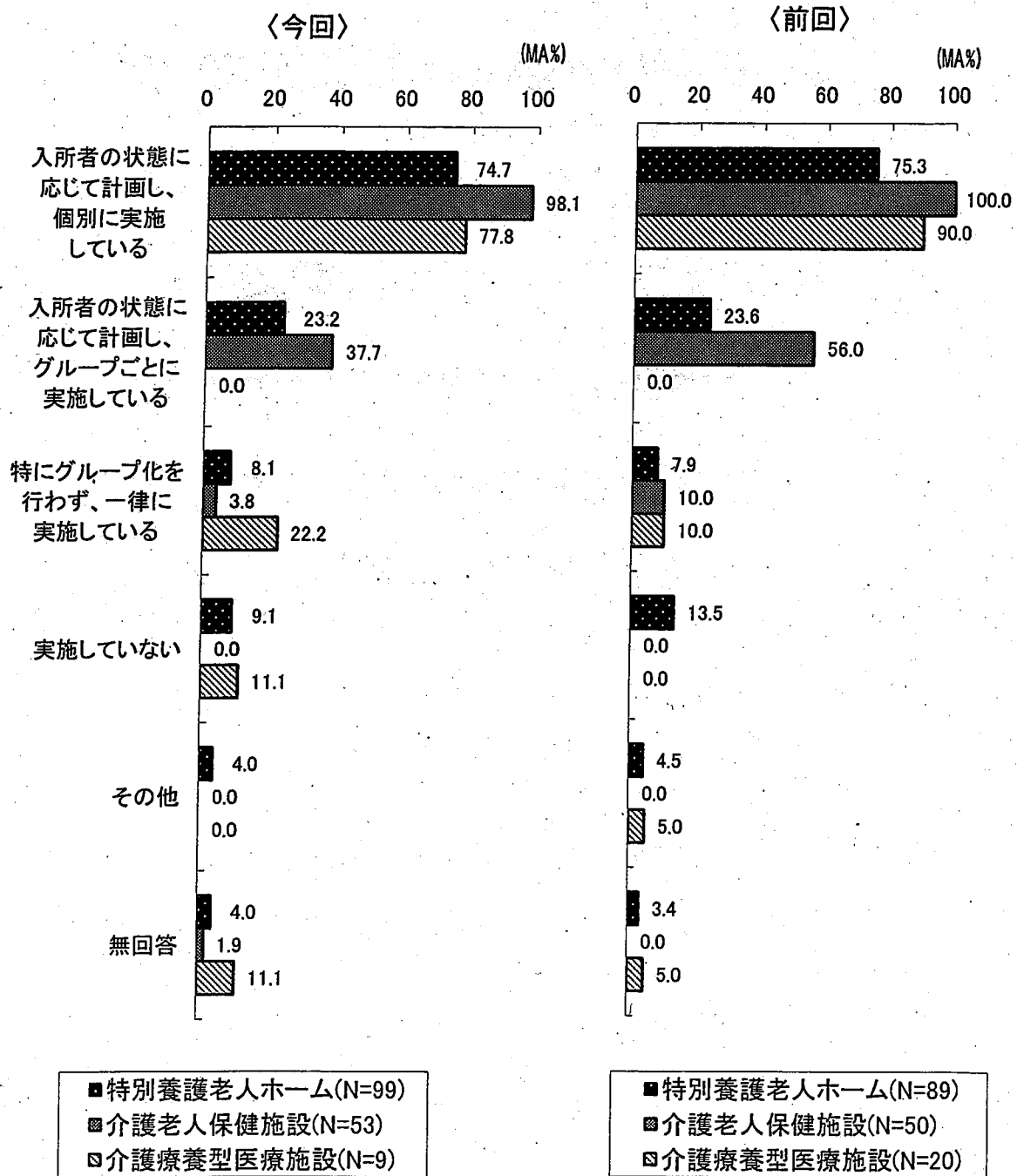
	N	施設サービスプランを作成するときに、入所者の希望を聴取している (%)	施設サービスプランを作成するときに、家族の希望を聴取している (%)	施設サービスプランの内容・効果を入所者に説明している (%)	施設サービスプランを家族に説明している (%)	費用負担について、入所者やその家族に説明している (%)	重要事項の説明文を掲示している (%)	入所者の見える所に、説明文を掲示している (%)	退所前後には、退所後の生活について、相談支援を行っている (%)	無回答 (%)
特別養護老人ホーム	99	97.0	97.0	79.8	98.0	96.0	88.9	47.5	0.0	
介護老人保健施設	53	100.0	100.0	88.7	100.0	98.1	94.3	92.5	0.0	
介護療養型医療施設	9	100.0	100.0	88.9	100.0	100.0	100.0	88.9	0.0	
認知症高齢者グループホーム	136	92.6	95.6	73.5	92.6	94.9	73.5	61.8	2.9	

4施設全体では、サービスプラン作成にあたって、9割以上の施設が、家族、入所者に説明をし、希望を聴取している。費用負担の説明も同様に9割以上の施設が行っている。(図6)

特別養護老人ホームでは、「退所(退院・退去)前後には、多職種でカンファレンスを行う等、退所(退院・退去)後の生活について相談支援を行っている」が、他に比べて低くなっている。(表6-1)

問7 リハビリテーション(理学療法・作業療法他)の実施状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。
 ※特養、老健、介護療養型の施設のみ。

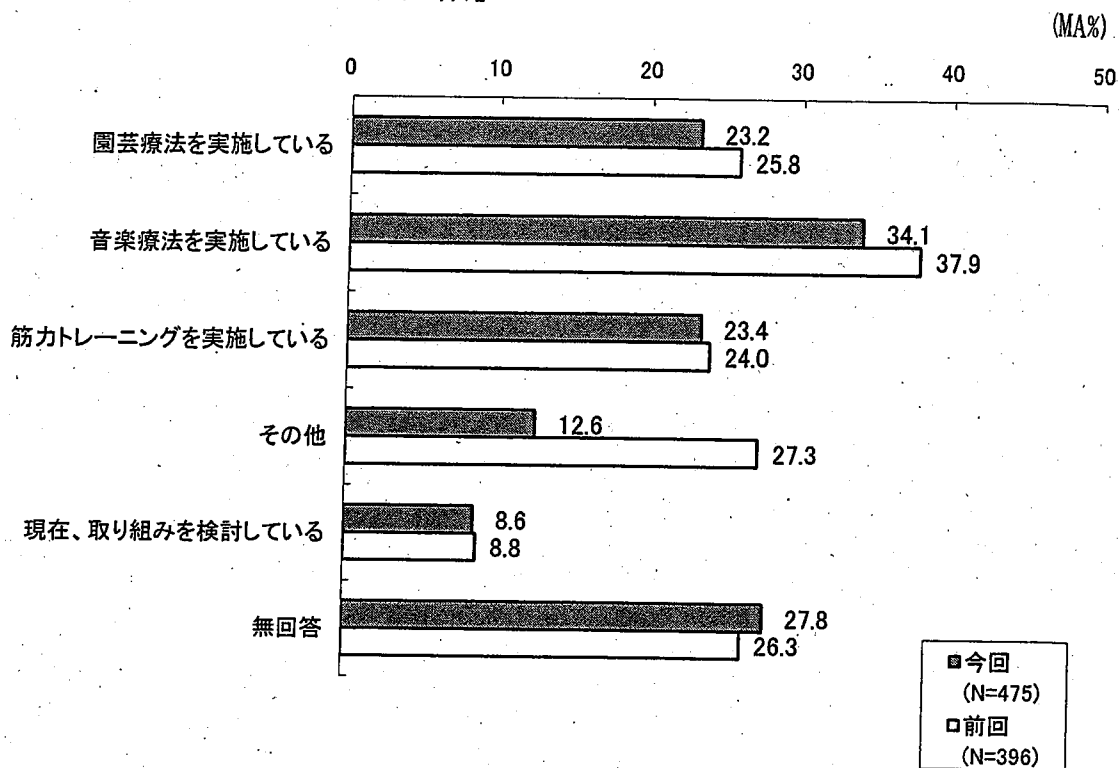
【図7 リハビリテーションの実施状況】



3施設ともに、「入所(入院・入居)者の状態に応じて計画し、個別に実施している」が最も高くなっており、介護老人保健施設が98.1%と最も多い。(図7)

問8 介護予防やその他様々な取り組みの実施状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図8 介護予防等の取り組み状況(全体)】



【表8-1 介護予防等の取り組み状況(施設別)】

	N	園芸療法を実施している	音楽療法を実施している	筋力トレーニングを実施している	その他	現在、取り組みを検討している	無回答
特別養護老人ホーム	99	24.2	44.4	16.2	12.1	4.0	27.3
介護老人保健施設	53	26.4	24.5	54.7	1.9	7.5	17.0
介護療養型医療施設	9	0.0	11.1	33.3	0.0	11.1	66.7
養護老人ホーム	11	18.2	18.2	45.5	27.3	9.1	18.2
軽費老人ホーム	17	23.5	23.5	17.6	41.2	11.8	5.9
生活支援ハウス	3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3
認知症高齢者グループホーム	136	33.8	41.2	16.2	12.5	8.1	28.7
有料老人ホーム	119	12.6	29.4	25.2	14.3	12.6	26.9
サービス付き高齢者向け住宅	26	11.5	15.4	7.7	11.5	11.5	53.8

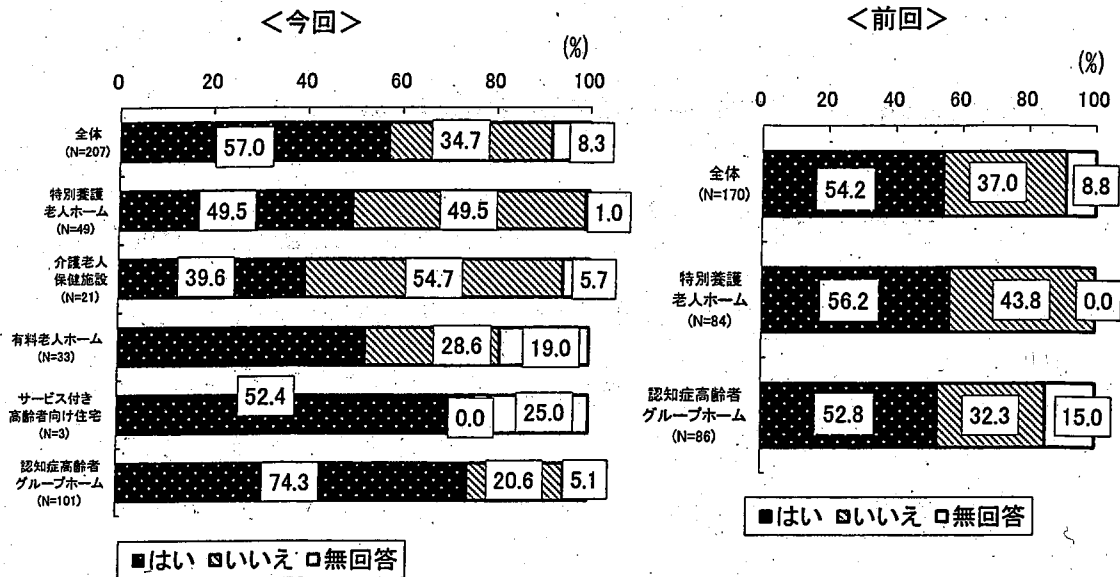
9施設全体では、「音楽療法を実施している」が最も高くなっている。施設別では、「介護老人保健施設」で「筋力トレーニングを実施している」が最も高くなっている。(図8、表8-1)

問9 施設における「看取り」の状況についておたずねします。

※特養、老健、特定施設、認知症高齢者グループホームの施設のみ

(1)看取り介護加算(ターミナルケア加算)又は医療連携体制加算の届出をされていますか。

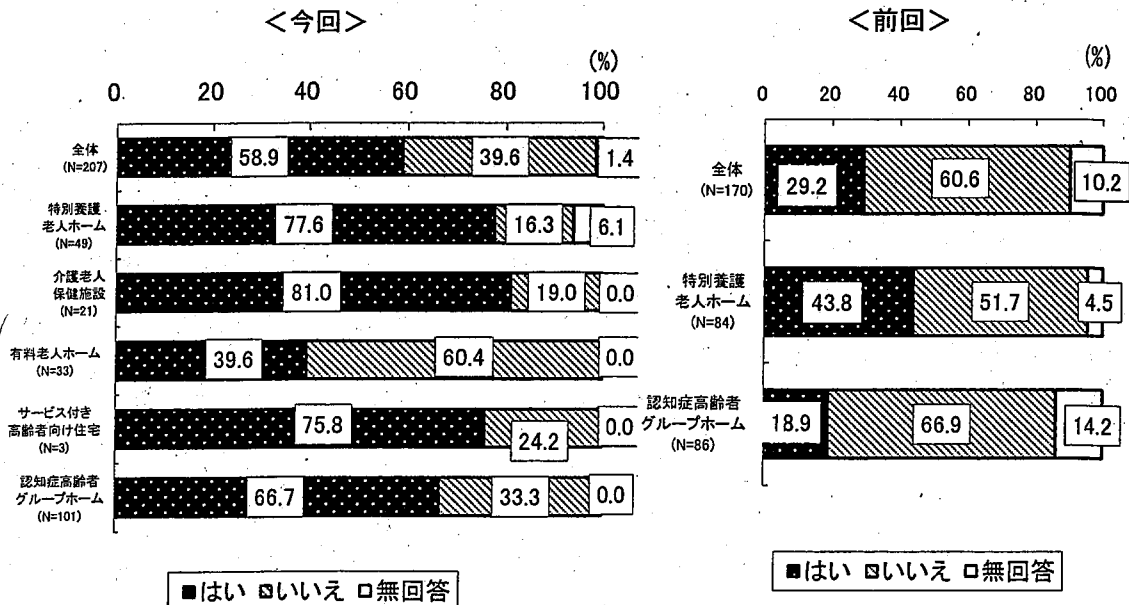
【図9-1 看取りの届出状況】



看取り介護加算(ターミナルケア加算)又は医療連携体制加算の届出を出している施設は、全体で半数以上となっている。(図9-1)

(2)昨年度(H24.4~H25.3)において、施設内で「看取り」を行ったことがありますか。

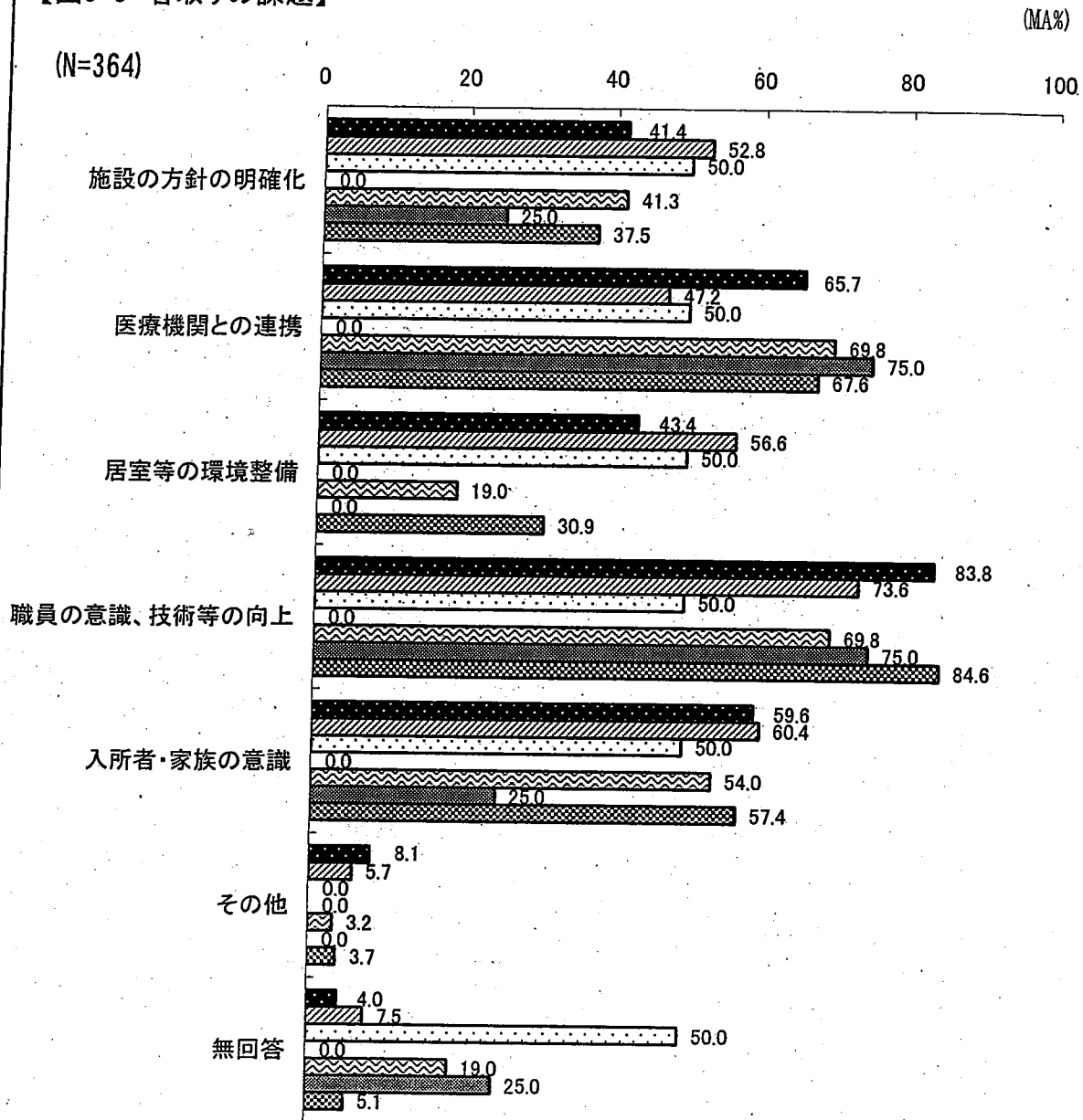
【図9-2 看取りの実績】



「看取り」を行った施設は、介護老人保健施設が80.1%と最も高く、次いで特別養護老人ホームが77.6%となっている。前回と比較すると、全体で「はい」の回答が29.7ポイント増加している。(図9-2)

(3) 今後の「看取り」を行うにあたっての課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図9-3 看取りの課題】



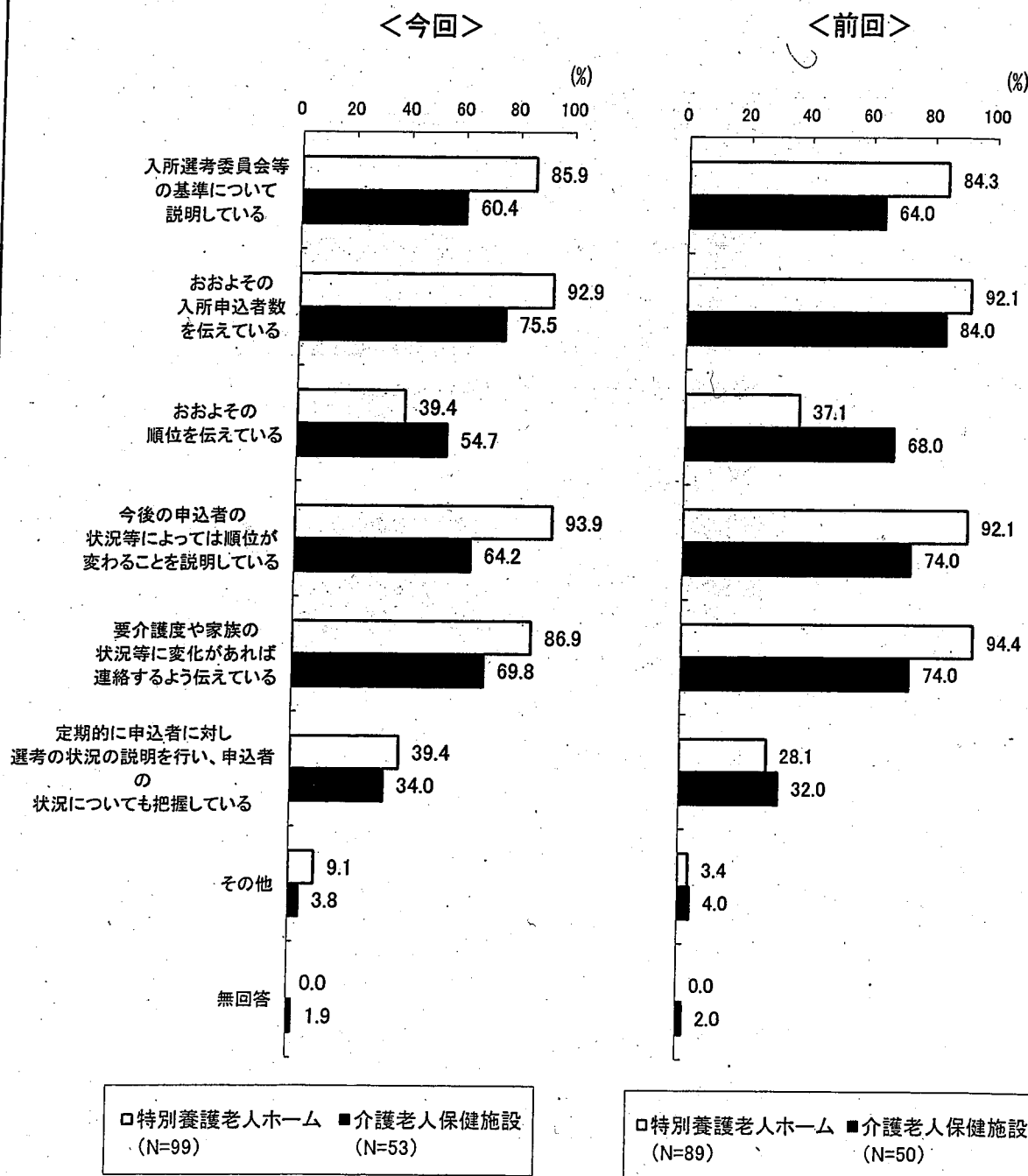
■特別養護老人ホーム (N=303) □介護老人保健施設 (N=161) □養護老人ホーム (N=7) □軽費老人ホーム (N=6)
 □有料老人ホーム (N=174) □サービス付き高齢者向け住宅 (N=9) □認知症高齢者グループホーム (N=390)

認知症高齢者グループホーム、特別養護老人ホームが「職員の意識、技術等の向上」で8割以上と最も多く、次いで「医療機関との連携」「入所者・家族の意識」となっている。(図9-3)

問10 入所申込者に対する入所選考に関する説明について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

※特養、老健の施設のみ

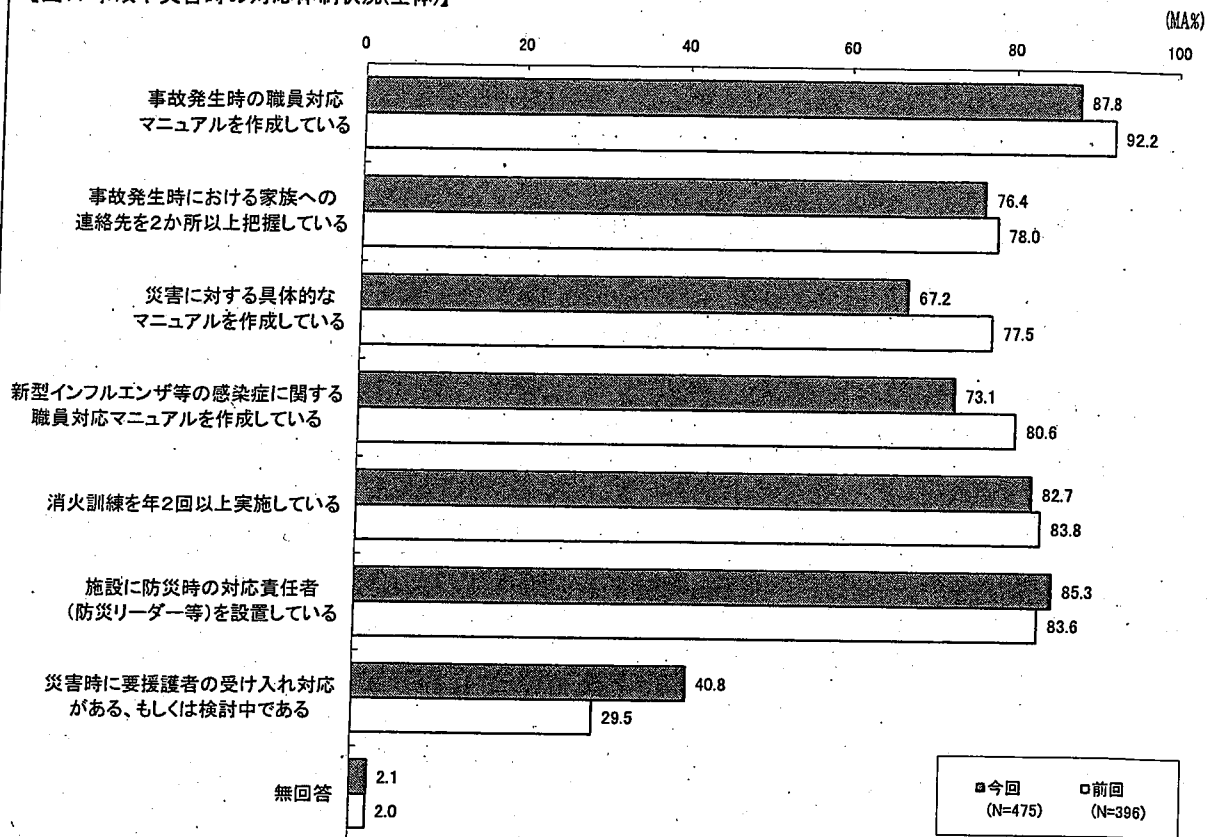
【図10 入所申込者に対する入所選考に関する説明の状況】



特別養護老人ホームでは、「今後の申込者の状況等によっては順位が変わることを説明している」が93.9%と最も高く、次いで「おおよその入所申込者数を伝えている」が92.9%、「要介護度や家族の状況等に変化があれば連絡するよう伝えている」が86.9%となっている。前回と比較すると、「要介護度や家族の状況等に変化があれば連絡するよう伝えている」がいずれの施設においても減少している。(図10)

問11 事故や災害の対応について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図11 事故や災害時の対応体制状況(全体)】



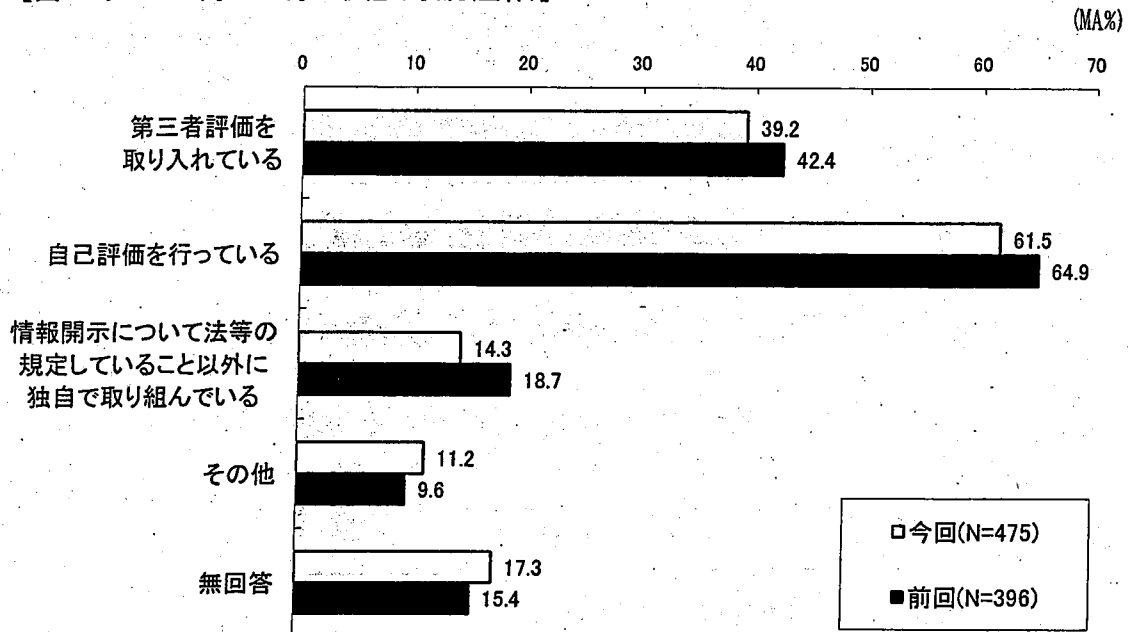
【表11-1 事故や災害時の対応体制状況(施設別)】

	N	事故発生時の職員対応マニュアルを作成している(事故発生から医療機関受診までの手順・関係機関への報告等)	事故発生時における家族への連絡先を2か所以上把握している	災害に対する具体的なマニュアルを作成している	新型インフルエンザ等の感染症に関する職員対応マニュアルを作成している	消火訓練を年2回以上実施している	避難訓練を年2回以上実施している	施設に防災時の対応責任者(防災リーダー等)を設置している	災害時に要援護者の受け入れ対応がある、もしくは検討中である	無回答
特別養護老人ホーム	99	91.9	85.9	74.7	83.8	85.9	85.9	88.9	64.6	1.0
介護老人保健施設	53	92.5	75.5	67.9	79.2	90.6	84.9	83.0	35.8	0.0
介護療養型医療施設	9	77.8	77.8	66.7	66.7	100.0	77.8	77.8	33.3	0.0
養護老人ホーム	11	100.0	45.5	54.5	100.0	90.9	100.0	100.0	90.9	0.0
軽費老人ホーム	17	82.4	88.2	64.7	82.4	94.1	82.4	88.2	47.1	0.0
生活支援ハウス	3	100.0	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	33.3	0.0
認知症高齢者グループホーム	136	90.4	72.8	69.9	72.8	89.0	87.5	85.3	42.6	2.2
有料老人ホーム	119	80.7	77.3	62.2	62.2	79.8	76.5	83.2	20.2	4.2
サービス付き高齢者向け住宅	26	84.6	65.4	53.8	57.7	73.1	65.4	84.6	23.1	0.0

全体では、「事故発生時の職員対応マニュアルを作成している」が、87.8%で最も多い。前回と比較すると、「施設に防災時の対応責任者(防災リーダー等)を設置している」が1.7ポイント増加している。(図10)

問12 入所(入院・入居)者へのサービスの向上のための取り組みについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図12 サービス向上の為の取り組み状況(全体)】



【表12-1 サービス向上の為の取り組み状況(施設別)】

	N	第三者評価を取り入れている	自己評価を行っている	情報開示について法等の規定していること以外に独自で取り組んでいる	その他	無回答
特別養護老人ホーム	99	32.3	60.6	11.1	17.2	13.1
介護老人保健施設	53	17.0	58.5	7.5	11.3	24.5
介護療養型医療施設	9	11.1	33.3	22.2	11.1	33.3
養護老人ホーム	11	27.3	36.4	0.0	18.2	36.4
軽費老人ホーム	17	11.8	35.3	11.8	5.9	47.1
生活支援ハウス	3	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0
認知症高齢者グループホーム	136	90.4	75.0	14.7	3.7	2.9
有料老人ホーム	119	10.1	59.7	21.8	14.3	23.5
サービス付き高齢者向け住宅	26	7.7	46.2	11.5	11.5	30.8

9施設全体では、「自己評価を行っている」が、61.5%と最も高く、次いで「第三者評価を取り入れている」が39.2%となっている。施設別でみると、認知症高齢者グループホームが「第三者評価を取り入れている」で、90.4%と最も高くなっている。(図12、図12-1)